

地球をぶらり 2021 (オンライン)

日 時：2021年10月23日(土) 14:00-16:10

主 催：NPO 法人日本地学オリンピック日本委員会

(アースサイエンスウィーク・ジャパンとの共同企画)

費 用：無料

申込み：10月20日(水) 17:00まで。先着200名。

内容

14:00-14:05 杉 副理事長 挨拶

14:05-15:05

私のヒマラヤ研究

ーヒマラヤ山脈誕生の謎を解くー

インド亜大陸とアジア大陸が衝突した結果、ヒマラヤ山脈ができたことは良く知られています。またヒマラヤ・チベット山塊が形成されたことにより、モンスーン気候が誕生したことも知られています。

では、どのようなプロセスとメカニズムで世界の屋根が生まれたのでしょうか？またモンスーン気候はいつ誕生し、どのように変動してきたのでしょうか？私はこれらの謎を解くことを目標に、過去40年に亘って研究を進めてきました。

今日は私の研究史を振り返りながら、その転換点となった7つの出来事を紹介したいと思います。

講師 京都大学理学部名誉教授 酒井治孝 氏

15:05-16:05

海溝から誕生した日本列島

ープレート、付加体そして「ちきゅう」ー

プレートテクトニクスは、大西洋中央海嶺の研究から発展した。しかし、1970年代、プレートの沈み込む境界である海溝で何が起きているのかははっきりわかっていなかった。演者は、四国四万十帯の研究、南海トラフの研究を通じて日本列島の基盤が、海溝で形成される付加体であることを提案してきた。さらに、地球深部探査船「ちきゅう」プロジェクトに参画し、多くの研究者・技術者とともに、プレート沈み込み帯で起こる様々な地学、化学、生物学的な現象を包括的に説明しようとしてきた。その歩みと成果を皆さんに紹介したい。

講師 東海大学海洋研究所長 海洋研究開発機構顧問 平朝彦 氏

16:05-16:10 終わりの挨拶(澤口事務局長)

*NPO 法人日本地学オリンピック日本委員会の HP よりお申込みください。

申込みを受け付けメールは自動返信されますが、自動返信が届かなかった方やお問い合わせは担当の瀧上 (burari@esolympiad.jp) までご連絡ください。

*オンラインは Zoom を利用して開催いたします。

ID とパスコードは 10月15日(金)以降前日までにメール(burari@esolympiad.jp より発信)でご連絡いたします。

*皆様の情報は「地球をぶらり」を含む地学オリンピック日本委員会の活動案内のみに使用いたします。

*アースサイエンスウィーク・ジャパン (<https://www.earthsciweekjp.org/>)